



2025年2月10日

各位

会社名 スカイマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 本橋 学
(コード番号: 9204 東証グロース)
問合せ先 執行役員・IR室長 田上 馨
(TEL. 03-6853-7222)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月10日の取締役会において、2024年5月15日に公表いたしました、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の業績予想について、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について（2024年4月1日～2025年3月31日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 112,200	百万円 3,500	百万円 3,600	百万円 4,200	円 銭 71.25
今回修正予想（B）	107,500	600	1,500	1,500	25.44
増減額（B-A）	△4,700	△2,900	△2,100	△2,700	—
増減率（％）	△4.2	△82.9	△58.3	△64.3	—
（参考）前期実績 （2024年3月期）	104,075	4,668	7,463	2,997	49.93

2. 修正の理由

2025年3月期の業績につきましては、堅調な旅行需要を背景に有償旅客数は第3四半期累計において概ね期初想定通りに推移いたしました。顧客単価については航空各社間の競争の激化により見込んでいた水準に届かず、事業収益は期初想定を下回る見込みとなりました。

営業利益については、第2四半期までは管理可能費の抑制等により事業収益の不足分を補っておりましたが、継続する物価上昇に伴う仕入れ価格の上昇、来期以降の新機材導入に向けた人材確保、加えて第3四半期において実施したリテンション強化を目的とした追加的な人材投資などにより、営業費用は増加いたしました。管理可能費の抑制は継続しており、引き続き期初想定を下回るものの上期までと同水準の費用抑制には至らず、営業利益は期初想定を下回る見込みです。

経常利益及び当期純利益は、不安定な為替変動の影響により先行きが不透明な状況ではありますが、営業利益の減少により期初想定を下回る見込みです。

なお、足元の顧客単価は一定の旅客数を獲得しながら上昇基調にあり、レベニューマネジメントの強化による引き上げ施策の効果が発現しはじめております。コスト面においては、安全確保に関する投資は惜しまず、

バランスを見ながら成長投資を行う一方で、管理可能費については一層の削減に努め、お客様にコストパフォーマンスの良い移動を提供することで事業収益及び利益の確保を図ってまいります。

(注) 上記予想は、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上